

基本目標	評価別指標数 ①			グラフ (評価別割合 ①/((③-②)×100)	評価対象外 指標数 ②	合計 指標数 ③	横断的視点による実施傾向		
	A	B	C				「子育て」 関連事業数	「デジタル」 関連事業数	SDGs「環境・エネルギー」 関連事業数
1 子育てと健康のまち	18	12	5	A 52% B 34% C 14%	2	37	71% 29%	13% 87%	100%
2 豊かで安心なまち	17	15	8	A 43% B 37% C 20%	1	41	35% 65%	24% 76%	27% 73%
3 魅力ある賑わいのまち	13	15	9	A 35% B 41% C 24%	0	37	12% 88%	29% 71%	9% 91%
4 人が輝く郷育のまち	10	5	7	A 45% B 23% C 32%	0	22	83% 17%	28% 72%	22% 78%
5 多様性が広がるまち	11	12	3	A 42% B 46% C 12%	1	27	25% 75%	50% 50%	100%
合計	69	59	32	A 43% B 37% C 20%	4	164	43% 57%	26% 74%	13% 87%

基本目標別考察

1 子育てと健康のまち

5つの基本目標のうちA評価割合が半数を超え最も高く、本市が重点的に取り組んでいる「子育て」に関しては順調に推移している。横断的視点では子育て事業が基本目標内にあるため「子育て」が高い割合となっているが、それ以外の事業でも子育てに該当する事業が多数あり、子育てに重点を置いた傾向がみられる。環境・エネルギー分野での該当はなかった。

2 豊かで安心なまち

事業数が最も多い基本目標となっているが、A評価は各課事業に分散している傾向がみられた。C評価は人口減少の影響を受けやすい指標に多い傾向がある。横断的視点では「子育て」に該当している事業が最も多いが、建設上下水道や都市計画課分野での該当はほとんどなかった。基本目標内に環境課事業があり、「環境・エネルギー」に該当している事業のほとんどはその事業である。

3 魅力ある賑わいのまち

他の基本目標に比べA評価の割合が最も低くなっているがB評価の割合は高い。大幅改善は少なかったが、目標全体としては順調に推移している。横断的視点では「デジタル」が最も多く、「子育て」が少ない。農林観光分野でのデジタル該当事業が多く、今後は更なるスマート農林業等の推進を図ると同時に「子育て」にも貢献する事業展開が重要である。

4 人が輝く郷育のまち

B評価の割合が低くA、C評価が高い割合となっている。今後はC評価割合を減らす取組が必要である。横断的視点では学校教育関係事業のすべてが「子育て」に該当しているため高い割合となっている。また、事業数が少ない基本目標ではあるが、環境・エネルギーに取り組む事業が多く、割合としては最も高くなっている。

5 多様性が広がるまち

B評価が高い割合となっている。A評価事業は少ないが、C評価が5つの目標の中で最も低くなっていることから進捗状況は順調である。横断的検証ではデジタルの分野が含まれる基本目標であることから、半数の事業が「デジタル」に該当している。一方で「環境・エネルギー」に該当する事業がなかった。今後は環境対策にもつながる事業展開が必要と思われる。

全体の総括

B評価以上が80%となった。5箇年計画の2年目の実績であることから計画の進捗は概ね順調である。残り3年でC評価事業を減らす取組を進める。横断的視点では「子育て」に該当している事業が最も多い。「環境・エネルギー」該当事業が10%と少ないため、今後は環境に配慮した事業実施により該当事業数の増加を図る必要がある。